



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：米・イラク地位協定に対するイラン側反応

(11月25日付現地各紙)

11月25日付現地各紙は、米・イラク地位協定に関するラリジャ二国会議長の発言について報じている。

1. 米・イラク地位協定はイラクの主権を脅かし、地域に対して問題を引きおこすものである。同協定の一部は、イラク国内で広範な議論を惹起し、その結果修正に至ったが、依然としてイラクや地域に問題を引き起こすものとなるだろう。
2. 同協定はあくまでも幻想にすぎない。本来なら本件は、国連安保理が決定すべき事項である。イラクが自らの保有資産をコントロールできない限り、同国に対する国連憲章7章からの除外は実現しないであろう。
3. また、イラク駐留米軍に対する裁判権免除についても、米国の裁判所のみが犯罪者に対して法的措置を講ずる権利を有していることも問題である。
4. 同協定を通じてイラク問題を解決することはできない。